

ミズオオバコ

Ottelia japonica Miq

種名



分類	単子葉植物 トチカガミ科ミズオオバコ属	俗称		別名	
分布	本州～九州、インド、オーストラリア				
形態	ひげ根を叢生し、匍匐枝は無い。葉は叢生し紫褐緑色、葉身は広披針形でへりに波形のしわがある。水深によって葉の大きさは異なり、長さ10～30cm、幅2～15cmとなり、5～9脈ある。花茎は根生、頂に径約3cmの花を水面にひらく。花は苞鞘の中から1個で、萼片は線形。花弁は白色で淡紅紫色をおびる。雄ずいは3個で葯は内向する。果実は長楕円形で、頂に宿存する萼がある。				
類似種					
生育場所	水田や溝の中に生える一年草。				
花期	花は8～10月。				
他生物との関係					
配慮のポイント					
トピック					
カテゴリー	準絶滅危惧 (NT)				
用途					

引用文献: 『世界文化生物大図鑑 植物』を改変